

応用生物学科

化粧品実験

対象	2年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	森内 寛、榎原 みどり、企業講師			実務 経験	有	職種	化粧品メーカーにて商品開発に従事（榎原）				

授業概要

化粧品の製造技術や成分の分析技術など様々な実験技術を習得します。

到達目標

化粧品づくりを通して化粧品の設計と評価方法の原理を理解し、化粧品分野における基礎力を身につける事を目指す。

授業方法

化粧品製造を中心に化粧品の処方や研究開発に必要な実験技術を習得する。また、市販品の分析などを通じて実験手法の技術習得並びに向上を目指す。

成績評価方法

積極的な授業参加、実験手技、授業態度、レポート内容への評価等、総合的に評価する。

履修上の注意

遅刻・欠席は実験技術を理解できなくなる主原因である。日々の体調管理をしっかりと行い、必ず出席すること。実験書を当日読み始めることは、安全確保の観点から大変危険である。前日までに実験書に記載されている実験操作を読み、理解しておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。

教科書教材

「化粧品実験テキスト」日本工学院八王子専門学校 応用生物学科 編・著 「化粧品成分検定公式テキスト 改定新版」一般社団法人 化粧品成分検定協会 編（実業之日本社）

回数	授業計画
第1回	ガイダンス（化粧品原料の性質）
第2回	化粧品製造①（増粘化粧水の作成と改変処方の考え方）
第3回	化粧品製造②（乳液の作成と乳化）

第4回	化粧品製造③（バニッシングクリーム、クレンジングミルクの作成）
第5回	化粧品製造④（バスエッセンスの作成）
第6回	化粧品分析①（市販化粧品の含有色素の含有量分析）
第7回	化粧品分析②（自作化粧品と市販化粧品のHPLCによる成分分析）
第8回	まとめ及びレポート